

学生の皆さんへ

オンライン学習のパイオニア



教育学部長

矢野 裕俊

教育学科、幼児教育学科の皆さん、前期も折り返し地点を迎えましたが、学びの手応えは如何ですか。この度の遠隔授業はやむを得ず始まりました。しかし、これは通常の対面式授業の「代用」で、仕方なく行うというばかりではありません。最近、私の授業でアンケート調査を実施したところ、遠隔授業に対しては「特に不便を感じることはない」「かえって集中して授業を受けることができる」が8割、オンデマンドでの授業については、「自分のペースで授業を受けられるので理解が深まる」という回答が84%でした。遠隔授業とオンデマンド式授業を受け入れ、肯定的である人が非常に多いことがわかりました。オンラインでの授業は大学での学び方の一つとして定着していくはずですよ。

優れた教育は人と人との直接的な出会いのなかでこそ実現する、という意識が強かったためか、教育へのICT利用ではわが国は諸外国に大きく遅れをとってきました。しかし、対面式に劣らずしっかりと学べる方法があることにもっと目を向けるべきときが来ているようです。私たちはいまこれまでに経験したことのない学び方、教え方を経験しています。その真只中であって、遠隔・オンライン授業のメリットもデメリットも経験知として蓄え、優れた学びの実践者になりたいものです。

2020年は、後に日本におけるオンライン学習の「元年」として記憶されることでしょう。教育者をめざす皆さんには、現在の経験をぜひ価値あるものとして生かし、自分の世界を豊かにするための技法を身につけることを期待します。皆さんはその生き証人であり、パイオニアです。ともに力を合わせて新しい学びの世界を築き上げていきましょう。